

# JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



# 謹賀新年





# 新年を迎えて

しずない農業協同組合 会長理事 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族ともどもご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は5月より新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、毎年10月に開催されていたしずない農業まつりについても、今年は4年ぶりに開催出来、たくさんのお客様が来場し各種イベントで大いに賑わいを見せました。

また、青年部は10月にハロウイ

ン2023を開催し、2019年以来ということもあり、過去最高の千人近い来場者数で盛り上がりを見せました。なお、他の青年部活動につきましても6月上旬から6月中旬にかけて、新ひだか町の小学校3校と静内保育所を訪れ、定植体験授業、選果場見学、圃場見学を行い、ミニトマト産地ならではの取組みにより子供たちに学べる環境を作ることが出来、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。

そういった状況もありながら、農業分野におきましては肥料・燃油・飼料などの農業資材は高止まりのままであり、特に夏場の猛暑による記録的な高温多湿の影響は大きく苦労の絶えない1年でありました。

昨年の農作物の状況としまして、当組合の基幹作物の1つであるミニトマトの促成栽培については4月から5月にかけて全国的に曇天続きで出荷数量が前年比較で伸び

ない状況が続き、6月に入ってから出荷数量は前年に追いつきつつありましたが、競合地域の出荷状況も重なり、価格が低迷しておりました。7月の後半から9月の前半にかけては連日30度近い猛暑が続き、果房上部が赤くならず規格外品となってしまうグリーンパツク果の発生や高温障害での着果不良も多く、取扱金額、出荷収量ともに厳しい状況が続きました。取扱金額は8億2千万円となり、青果全体では8億8千万円となりました。

本年も3組の新規就農者の参入が予定されており、ミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

水稲は日高管内は104の「やや良」でありました。7月から9月にかけて猛暑が続きましたが収量こそ平年並みでしたが、品質の面ではのタンパク質も含め高品質な米を収穫することが出来ました。

また、純米吟醸酒「海桜丸」は、上川大雪酒造 碧雲蔵で仕込みを行ってから4年目を迎えております。飲み口の良さから評判も上々で、年々販売数量を増やしております。令和5年度産米の仕込みは

1月中の仕込み予定となっております。4月頃の販売を予定しております。本年度も「飲まざる酒」に仕上がることを期待しております。

黒毛和牛については、ホクレン 南北北海道市場の素牛平均購買価格は去勢で67万円、メスで54万円と、前年比較で10万円程度の安値で推移しており、当組合の年間の販売金額は4億9千万円程度と前年の5億7千万円程度より8千万円減少していることから、一昨年から引き続きいる配合飼料などの高騰により肥育生産者の経営が厳しい状況が伺えます。今後とも購買者のニーズに答え、より良い素牛を出荷できるような高齢牛の淘汰更新を積極的に進め、優良母系牛群の形成を進めてまいります。

また、酪農については一昨年より引き続き配合飼料などの高騰、そこに牛乳、乳製品の消費の落ち込みから北海道農協酪農・畜産対策本部委員会より生乳の生産を抑える方針を取られていることや、ホルスタインや交雑種の初生子牛につきましても安価な状況が続いており、黒毛和牛の受精卵移植が積極的に行われてきましたが、そ

れに伴う黒毛素牛の供給過剰や肥育生産者の経営が厳しい状況も相まって黒毛素牛市場の価格も下落し、酪農経営自体が非常に厳しい状況にあり、牧草については1番牧草収穫期に晴天が続く、良質な牧草が収穫できましたが、2番牧草においては猛暑と日照り続きで枯れてしまっている部分も多くみられています。販売金額は3億3千万円の取扱実績でした。

基幹産業である軽種馬については、一昨年の市場販売頭数及び販売金額が、504頭、67億6千万円で昨年より23頭、5億5千万円の増加となり、平均販売価格は49万円増加の1340万円となりました。コロナ禍から日常に戻りつつある中で、軽種馬市場においても購買者が増え非常に活気に満ちております。総売上は過去最高の180億円を超える結果でありました。

また、昨年の重賞レースでは2月1日、川崎競馬場で開催された「川崎記念」と3月25日、ドバイで開催された「ドバイワールドカップ」で千代田牧場生産のウシュバテソロー号が、7月12日、大井競馬場で開催された「ジャパンダ

ートダービー」で高橋ファーム生産のミックファイア号が、11月3日に同じく大井競馬場で開催された「JBCレディスクラシク」で畠山牧場生産のアイコンテール1号がG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

最後に、昨今の異常気象、特に夏場の猛暑の常態化や肥料、飼料をはじめとする物価の高騰など大変厳しい農業環境の中でありますが、各地域において新たな農業の形を作っていくという取組も見られる中、各品目の将来について引き続き組織討議を行ってまいります。組合員皆様が強力な農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

会長理事

西村 和夫

代表理事組合長

藤村 英治

理事

山口 修二

谷岡 康成

田中 裕之

小池 孝義

帰山 諭

理事兼参事

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

姥谷 秀樹

金融部長

竹内 章浩

営農部長

丹野 潤一

経済部長

櫻田 文明

外職員一同

# 令和6年の年頭にあたり



新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様におかれましては、  
日々営農に更に邁進されておられ  
ることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が  
一丸となり地域農業の振興や地域  
社会の発展に向け、日頃より多大  
なご尽力をされていることに対し  
まして、改めて敬意と感謝を申し  
上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、  
春先は天候に恵まれ地域によって  
降雹被害や竜巻の被害が見られた  
ものの、概ね、平年並みに推移し  
ておりました。しかしながら夏場

は猛暑による記録的な高温多湿の  
影響を大きく受け、各作物の生育  
自体は、全般的に平年よりも早く  
進んできましたが、各作物等の収  
量および品質の低下が顕著となる  
残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位  
置付けは昨年5月より5類に移行  
し、コロナ禍以前の日常を取り戻  
しつつありますが、各農畜産物の  
消費は依然として低迷しており、  
さらに、国際紛争や急激な円安の  
進行による飼料・肥料をはじめと  
した生産資材の高止まりが、農業  
経営に与える影響は甚大なものと  
なっています。

さらにこれらの影響を受け、世  
界の食料需給事情が一変しました。  
輸出制限を行い、自国の食料を確  
保する各国の動きが活発化し、世  
界的な人口増加による食料不足問  
題など食料争奪合戦がすでに始ま  
っています。我が国の食料を安定  
的にどう確保するのか。今こそ大

いに食料安全保障の国民的議論が  
必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%  
しかありません。

これは、世界の先進国の中で最  
低の水準であり、6割以上の食べ  
物を輸入に頼っているのが日本の  
現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫  
緊の課題であることから、我が国  
の食料供給基地である北海道農業  
が果たしてきた役割、そして北海  
道農業への期待は、今後ますます  
大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の  
食料基地であるという使命感に立  
ち、食料の安定生産・安定供給と  
農畜産物の需要拡大を両輪として  
引き続き取り組むことが重要であ  
り、国民の命の源である食を守り  
続けるにも、まさに新しい農業を  
築き、未来の世代へ繋いでいく必  
要があり、行政や全国連とも連携  
し、しっかりとその対応を図って  
参ります。

今年、第31回J A北海道大会  
が開催されます。

また、第30回J A北海道大会の  
実践最終年度であり、決議された

将来ビジョンである、「北海道  
550万人と共に創る『力強い農  
業』と『豊かな魅力ある地域社会』  
の達成」の成果をしっかりと検証  
し、次のJ A北海道大会に繋げて  
いく必要があります。

このような状況であるからこそ、  
協同組合運動の原点に立ち返り、  
相互扶助の精神に基づき互いに協  
力し、力を合わせこの難局を乗り  
越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、いま  
以上に農業・食に対する理解を  
求めるため、J Aグループ北海道  
統一の情報発信のフレーズである  
「アグリアクション北海道」を  
浸透させ、より効果的な情報発信  
を行い、J Aグループが提唱する  
「国産国産」の認知を広めて参り  
ましょう。

結びになります。本年は辰年  
です。辰年は陽の気が動いて万物  
が振動するので、活力旺盛になっ  
て大きく成長し、形がととのう年  
だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が  
豊穰の年となること、皆様のご健  
勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶  
といたします。



# あけましておめでとうございます

日高農業改良普及センター 所長 北島 潤



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな年をご家族と共に健やかに迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

また、日頃より普及センターの活動に際しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類区分移行に伴い行動規制や制限が緩和され、日常活動も以前の状況に戻りつつあります。農業分野におきましても、需給動向の一部回復がうかがえるようにな

りました。ただ、肥料・燃油・飼料などの農業資材は高止まりのままであり、依然として苦労の絶えない一年であったかと思えます。

そのような中、4月～10月の農耕期間の気象経過を振り返りますと、気温は4～5月に周期的に寒さを感じる事もありましたが、総じて平年よりも高く推移し、積算気温は116%（プラス477度）となりました。また日照時間は春耕起や水稲収穫期に晴天が続き平年比112%（プラス129時間）となりました。降水量に関しては平年比79%（マイナス200ミリリットル）となりました。

本年は高温少雨の中、農作業は順調に進捗しましたが、施設園芸作物では高温障害による影響が広範囲で見られました。しかし、一時期に集中した降雨が幾度かあり、排水不良地等では病害虫の蔓延や生育阻害を受けた場面もあり、排

水対策を踏まえた基盤整備や土地改良の重要性は年次変動にかかわらず必須課題と考えます。

昨年の各作物の作柄は、次のような概況となりました。

水稲では、本田移植後分けつがやや遅れ、総刈数は少なくなりましたが、登熟が良好で品質・食味も高い水準にありました。千粒重が貢献し収量は「平年並」となりました。

ミニトマトなど施設野菜類は、高温期の花飛びや着果不良・樹勢低下等による収量低下が影響し生産計画数量を下回りました。

肉牛につきましては、黒毛和種素牛の出荷頭数は堅調でしたが、販売単価は軟調に推移していました。

軽種馬生産では、サラブレッド市場成績が過去最高額を記録した前年に更に上積みされ、今後への明るい兆しが窺えました。また、ホッカイドウ競馬においても馬券発売額が近年の好調を維持しています。JRAでも日高管内生産馬が大活躍し、全国ニュースでも数多く取り上げられ、馬産地「日高」

の名前が広く伝えられました。

農業を取り巻く情勢は、まだ予断を許さない場面が多く見込まれますが、今、地域の成すべき事は、施策に依りて長期的な戦略検討が必要であり、10年後の目指す姿のため「今すべきこと」を見つめ直し、一歩づつ積み上げていく事が肝要かと思えます。

農業者の皆様の果敢な取り組みと、日高地域の良さを生かした次世代に繋がる農村・地域づくりを、普及センターは「農業者・地域とともに考える活動」を第一として進めて参ります。

結びに、本年が皆様にとりましてご健勝で豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、新年に当たってのご挨拶といたします。



## 新年を迎えて

J Aしずない女性部 部長 曾 我 順 子



令和6年、明けましておめでとうございます。

昨年は夏の猛暑により苦労の多い1年となりましたが、農業に関わる方々が力を尽くして作業してくださったことに、心から感謝申し上げます。また組合員、各関係機関の皆様におかれましては、日頃より当女性部活動に対し深いご理解とご協力、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は第5類区分への移行となり、そのお陰で様々なイベントが実施しやすくなりました。なかでもJAの大イベント「農業まつり」は

晴天のもと4年ぶりに実施することができました。年代別もさまざまに、女性部では豚汁とバターをのせたかぼちゃとじゃがいもの蒸し野菜を提供することとしました。皆様に食べていただけるか心配でしたが、すべて完売することができ安心しております。営農課の皆様、女性部員の皆様、お子様を連れてのご協力、また開催直前で新型コロナウイルスに感染し、参加できなかった方を心配していただき、誠にありがとうございました。今年も部員の皆様とともに一つの行事を企画、計画しながら実施させていただこうと思っておりますので、ご参加をよろしくお願い申し上げます。また、皆様のご健康とご多幸を節にお祈り申し上げます。



## 新年を迎えて

J Aしずない青年部 部長 菊 池 慶



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年におきましては新型コロナウイルス感染症が第5類区分への移行となり、例年通りのイベント、行事、活動を行うことができました。

町内各小学校、保育所を訪問し行ったミニトマトの定植体験授業では子供たちの熱心に作業する姿が見られ、地域産業に興味を持つていただけたのではないかと思います。また、静内保育所においては地元シンガーソングライター阿部卓馬さんに協力いただき、歌やダンスでも楽しんでもらえたのではないかと思います。4年ぶりの開催となった農業ま

つり、そしてハロウィンも久々の開催ということで戸惑う面もありましたが、各関係機関の方々の協力もあり、無事盛況の中で終えることができました。特にハロウィンにおきましては過去最多と思われる、約千人の来場者を迎えることが出来、我々の大きな励みとなりました。

また、日胆地区の活動も活発に行われ、各種イベント、講習会に加え設立60周年記念式典も行われ、他地区の盟友と交流し、良い刺激を受けることが出来ました。研修大会の主張発表においては小久江副部長が前道大会への出場を決め、さらなる飛躍が期待されると思います。

昨年に続き、物価の高騰、気候変動による夏場の極端な高温傾向等、多くの営農に伴う不安要素を抱えております。当青年部におきましても様々な課題に向き合い再考する必要があると考えております。

最後に組合員の皆様をはじめ、各関係機関の方々のご多幸をお祈り致しますとともに本年もご指導の程、よろしくお祈り致します。

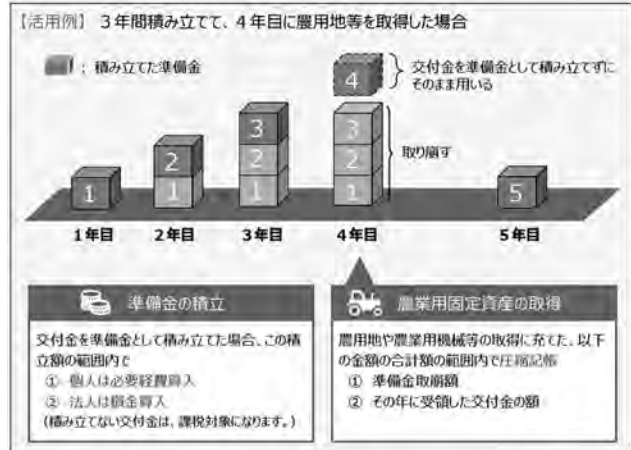
# 農業経営基盤強化準備金制度 (令和5年度版)

経営所得安定対策等の交付金を活用して、計画的に農業経営の基盤強化（農用地、農業用の機械・施設等の取得）を図る取組を税制面で支援します。

## 特例措置の内容

青色申告を行う認定農業者又は認定新規就農者が、経営所得安定対策等の交付金を農業経営改善計画に従い、**農業経営基盤強化準備金**として積み立てた場合、この積立額を**個人は必要経費**に、**法人は損金**に算入できます。

さらに、農業経営改善計画等に従い、積み立てた準備金を取り崩したり、受領した交付金をそのまま用いて、**農用地、農業用機械、施設等**を取得した場合、**圧縮記帳**できます。



## 対象者

青色申告により確定申告を行う**認定農業者**（個人、農地所有の確法人）又は**認定新規就農者**（個人）

## 対象交付金

以下の交付金の交付を受けた場合に準備金を積み立てることができます。

- ・畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）
- ・米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）
- ・水田活用直接支払交付金

## 対象資産

以下の資産を取得する場合に準備金を活用することができます。

### ○農用地

- ・農地、採草牧草地

### ○農業用の機械、施設等（取得価格が30万円以上の資産に限ります。）

- ・機械及び装置 ・器具及び備品
- ・建物及びその附属設備（農振法の農業用施設用地に建設又は設置されるもの）
- ・構築物 ・ソフトウェア

※令和5年度税制改正において、**農業用の機械・施設等のうち取得価格が30万円未満の資産は対象から除外されることとなりました。**（令和5年4月以後に取得するものから適用されます。）

### 対象資産の例

田、畑、樹園地、採草放牧地、トラクター、ロータリー、あぜ塗機、ブルドーザー、パワーショベル、農業用ドローン、播種プラント、田植機、移植機、乗用管理機、かん水装置、コンバイン、乾燥機、選果機、選別機、運搬機、鳥獣害防止用威嚇機、ビニールハウス、低温貯蔵庫、集出荷施設、農機具収納施設、温室、用水路、農作業管理ソフト など

注：トラック、フォークリフトなどの「車両及び運搬具」に該当するものや中古品は対象になりません。

詳細はJAしずない  
営農課まで  
0146-42-1051





# 年末・年始業務日程

区分	12月			1月								
	29日 (金)	30日 (土)	31日 (日)	1日 (月)	2日 (火)	3日 (水)	4日 (木)	5日 (金)	6日 (土)	7日 (日)	8日 (月)	9日 (火)
下記以外の業	平常営業 8:30~17:00	<b>休業</b>									平常営業 8:30~17:00	
金融店舗	平常営業 8:30~15:00	<b>JA自動車共済の安心サービス</b> JA共済はあなたを <b>[24時間・365日]</b> いつでもサポート!						平常営業 8:30~15:00	<b>休業</b>			平常営業 8:30~15:00
※ATM本所	ATM 8:30~18:00							ATM 8:30~15:00				ATM 8:30~18:00
※ATM豊畑	ATM 8:30~15:00	<b>ご契約のお車の事故については</b> <b>フリーダイヤル 0120-258-931</b> 夜間休日現場急行サービス 休日契約者面談サービス 夜間休日初期対応サービス						ATM 8:30~12:00	<b>休業</b>			ATM 8:30~18:00
Aコープしずない店 資材センター	営業 8:30~17:00							営業 8:30~12:00				平常営業 8:30~17:00
本所給油所	営業 7:30~17:00	<b>ご契約のお車のレッカー・ロードサービスについては</b> <b>フリーダイヤル 0120-063-931</b> 24時間 年中無休						営業 8:30~17:00	<b>休業</b>			平常営業 7:30~18:00
豊畑給油所	平常営業 8:30~17:00							営業 8:30~12:00				平常営業 8:30~17:00
東静内給油所	平常営業 8:30~17:00	休業 12月30日(土)~1月5日(金) TEL 0146-42-7051						営業 8:30~12:00	<b>休業</b>			平常営業 8:30~17:00
※日高中部農協 機械センター	平常営業 9:00~17:00							営業 9:00~未定				平常営業 9:00~17:00

## 令和6年 地区別懇談会日程表

令和6年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。  
 組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月日	時間	農事組合名	会場
1月22日 (月)	午後1時30分 ~午後4時00分	春立・東別一・東別二・東別三	東別生活センター
	午後5時30分 ~午後8時00分	浦和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館
1月29日 (月)	午後5時30分 ~午後8時00分	御園・農屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館
1月30日 (火)	午後5時30分 ~午後8時00分	静内一・駒場・中野一・中野二・神森 昭和・真歌・有勢内・目名・田原 田原高台・桔梗・親和	生産連ビル 3F

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。